

豊中生の家庭学習の手引き

－生徒の皆さんから出された質問に答えます。－

Q1 毎日の家庭学習の仕方

勉強しようと思っても何をやればよいのかわからない。どこから手をつけていいか、わからない。何の問題集をやればいいのかわからなくなってしまうときがある。

A1

八木澤美雪先生からのアドバイス

本当に勉強の仕方がわからず、本気でわかるようになりたいのなら、相談してください。先生によって教え方は様々です。私のやり方があなたに合うかも知れません。自分がどの段階でつまづいているのか、いっしょに確認しましょう。まずは、スタートラインを決めましょう。そうしたら、焦らず、潔く、諦めずにやさしい問題を数問ずつやってみる。私が支援します。

- ・基礎の基礎を短期間で身につけるのに、私のおすすめ 学研 ひとつひとつわかりやすくシリーズ 5教科別、学年別など多種あります。

加藤紀子先生からのアドバイス

とりあえず、まずは、今ある問題集をやってみよう。問題集がなければ、自分のレベルに合ったものを探してみよう。問題数が多い、少ないやカラーか白黒かなど探す観点はいくつかあると思います。ちなみに私はカラーの方がやる気が出ました。

杉浦美子先生からのアドバイス

毎日、その日授業でやった時間割通りに教科書・ノートを開いて読み直し・解き直しをしてみる。毎日続けると確実に力になります。

Q2 国語の勉強の仕方 国語の勉強法がわからない。

A2 北山百合子先生からのアドバイス

- ①使いこなせる「言葉」を増やすために、一日五題だけ新出漢字の読み書きチェック。
- ②漢字を「覚える」と意識して練習。テストして、できなかった文字をさらに練習する。毎日5つずつでも、続けることで書ける字の数は増えていきます。中学校で習う漢字は、日常生活で必要不可欠なものばかりです。書ける漢字が増えると、自信もついていきますよ。
- ③文章に慣れるために普段から読書をする。読むスピードも上がり、聞き慣れない単語の意味も調べれば語彙力も上がります。まずは自分の関心があるジャンルの本から手を付けてみてください。関心のある内容なら、意外と1冊を読み切れてしまうと思います。1冊を読み切れたら、まずそれ自体が素晴らしいことです。

※映画やアニメになった作品が、原作本とどう違うのかを比較して読んでみるのも、読書のきっかけとしては面白いかも知れません。

Q3 社会の勉強の仕方 社会がわからなくなってしまう。

A3 黒川友貴先生からのアドバイス

社会の学習で有効な手立てをいくつか教えます。(1, 2年向け)

- ・売っている社会のマンガ本(中学生向け)を購入し、読む。(流れをつかむのに有効)
- ・その日の授業内容を自分なりにノートにまとめていく。(自主学習として行くと良い。)
- ・その日の授業内容を自分なりに単語ノートにまとめていく。(3年生のときに使用できる単語帳になる)
- ・ワークを最低2回解く。2回目は1回目で間違えたところから解くと良い。

Q4 数学の勉強の仕方

数学の授業でわからないところを復習しようと思っても計算の方法がわからない。数学の計算問題がわからない。問題の解き方が理解できない。

A4

先崎みどり先生からのアドバイス

教科書の例題や問題集の問題の中から似ている問題（数字の部分だけが違うような問題がよい）を探し、解答を見ながら同じようにやってみる。最初は意味がわからないままやっても続けていくとできるようになってくると思います。毎日続けることが大切。

杉浦美子先生からのアドバイス

例題の解き方をまねすることから始めてください。学ぶことはまねることからだそうです。

Q5 理科の勉強の仕方 理科がわからなくなってしまう。

A5

穴戸怜先生からのアドバイス

覚えるのが苦手な人は自分なりの工夫が大事です。社会の年号の語呂合わせのように、自分なりにこじつけて覚えるのも1つの手です。とにかく自分の頭を整理することが大切です。

知識が身についたら、後は問題練習をひたすらやりましょう。「とちぎっ子」をもう1度解くなど、実践を意識してみましょう。問題がほしい場合は先生に頼んで、もらうのもよいでしょう。

何事も一定の努力は必要です。やりもしないで苦手とか言わないように。

渡邊稔先生からのアドバイス

- ・復習を中心に勉強をする。
- ・授業で学習したことはワーク（理科の学習）で知識の定着をするとよい。もし、わからない所は（先生、友達）に聞いて、理解するのがよい。わからないところを減らしていくことも勉強する上で重要です。友達と問題を出し合うのも良いと思います。大切なことは諦めないことです。
- ・3年生は入試に向けてどんどん問題を解くことをすすめます。できなかった所は解説をじっくり読んで理解してください。苦手な所は繰り返しやり直すとよい。

Q6 英語の勉強の仕方

英語の読みがわからないときネットで調べたいがダメと言われる。英語の勉強の仕方がわからない。

A6

石持優美子先生からのアドバイス

英単語の発音をネットで調べることはできると思います。ただ、ひとつひとつの単語の発音は分かりますが、文やフレーズになった時は読まない音（聞こえない音）などが出てきている単なる単語のつなぎあわせではなくなるので、注意が必要です。わからなかったら、授業中にしっかり聞いたり、先生に質問したりするとういと思います。

英語は、短時間でも毎日勉強するのがいいと思います。言葉なので、記憶することがたくさんありますが、体を使って覚えて「身につける」といいです。具体的には、声に出すこと。まず、発音・音読です。口と耳を使います。自分の出した音を自分の耳で聞きます。口や舌を使って思いっきり日本語にはない音を発音していると体にしみこんでいきます。自分の脳の中や頭の周りを使っている感覚です。次に英単語や文を見ていけば、目も使います。それから書けば手も使います。

語学はスポーツと似ているところがあります。練習を休むと体が重くなるように、ふれていないと（学習しないと）言葉（英語）への瞬発力が鈍るようです。毎日、5分でもふれるといいです。

斎藤祐子先生からのアドバイス

皆さんは英語の勉強というと、まず、ノートを出して書くことをイメージするかも知れませんが、単語も熟語（単語が2つ以上組み合わせあって意味をなすもの）も英文もまずは「音読」です。「音読ファースト」。授業中集中して口を動かして、読み方を脳にたたきこみましょう。家に帰ったら、そ

の日習った単語、熟語、英文を発音して読み方を忘れないようにしましょう。単語も熟語も英文も「①読めて→②意味がわかって→③書く」の順番で取り組んでください。正しく読めれば、聴き取る力もアップし、リスニング力も向上します。まずは授業中、積極的に口を動かして、しっかり発音することから始めてみましょう！

中村龍一教頭先生からのアドバイス

皆さんが一番気にしているのは、試験のときでしょう。

英語の文を読んで意味を理解したり、英語で自分の考えを書いたりしなければなりませんから、単に聞いて話せるだけでは不十分ということになります。では、どうすれば？

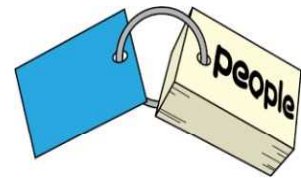
まずは、知らない言葉では見ても聞いても分かりませんし、ましてや自ら使うこともできません。ですから、皆さん、ひたすら単語を暗記していることでしょう。

覚え方は人それぞれですから、自分に合った方法でよいかと思いますが、例えば、“morning”ならどう覚えますか？「IM カ アル イ アイ ヌ ヅ」でしょうか？短い単語で、少ない語数ならそれでいけそうですが、中には長い単語もあるし、覚える量も相当なので、アルファベットで呪文のごとく覚えるには限界があるでしょう。

そこで、文字と音声を結びつけながら覚えるのはどうでしょうか？「モー」とつぶやきながら“m o r”と書き、「ニン」とつぶやきながら“n i n”と続け、最後に「グ」と言いながら“g”を付け加えて完成です。

さて、確かに数多くの単語を知っていることは自分にとって貴重な財産ですが、果たしてそれで十分でしょうか。もちろん、“Hello.”や“Thanks.”など1語で済む語もありますが、多くの場合、その前後に付く言葉も一緒に覚えておかないと不便でしょう。例えば、“shower”という語だけでは、「シャワーを浴びたいのか」「ここにシャワーの設備があるのか」はたまた「にわか雨が降ってきた」と伝えたいのか分かりません。“take a shower”とつなげて覚えておけば、「シャワーを浴びる」と言い表せるので、より実践的で、使えるほうにグンと近づくことでしょう。

おすすめは、辞書などで意味を調べたときに、例文も目に入ると思いますが、それを丸ごと覚えてしまうことです。単語を1語1語切り離して覚えるより、結びつきが強い語をまとめてセットで覚えた方が、使い勝手がよいかと思います。



Q7 土・日の家庭学習の仕方 土日あまり勉強ができない。

A7

八木澤美雪先生からのアドバイス 今市図書館へ行ってみるのはどうですか。

見目校長からのアドバイス

①部活動が忙しい人向けのアドバイス

部活動が忙しい人は土・日もあまり時間が作れません。しかし、そんな中でも部活動と勉強を両立している人はたくさんいます。もちろん、進学校と言われる高校でもです。その人たちは、考え方として、自分が手に入れたいものをしぼりこんでいるように思います。手に入れたいものは部活動での栄光と勉強の成果の2つです。他は捨てています。だから、時間を有効に使います。部活動をするか、体を休めるか、勉強をするかです。平日はなかなか時間がとれないので、土・日の時間があるときに、時間がかかる勉強をします。覚えたい英単語のリストを作ったり、数学の応用問題の解き直しをしたり。平日は通学の電車の中で英単語を覚えたり、授業の前の休み時間に予習をしたりしています。

②時間があるけど、勉強が後回しになってしまう人へのアドバイス

→勉強するように自分を追い込むこと。

- ケータイを持っているなら、電源を切って親に預ける。または、勉強する部屋以外の場所に置いておく。
- タイマーを使って「この時間内に〇〇と〇〇は終わらせる」と目標を立てて集中して取りかかる。勉強習慣がある子は60分勉強して10分休憩、勉強習慣がない子は30分勉強して10分休憩がオ

ススメ。

- ・土・日にやるべきことを具体的に書き出して勉強机の見えるところに貼る。
終わったら横棒で消していく。消していくことでどんどんすっきりするのでやる気が出る。
- 例 国：p.3～5 数：8 / 20～9 / 1 まで復習

Q8 暗記の仕方 やっても覚えることができない。漢字を覚えることができない。

A8

八木澤美雪先生からのアドバイス

- ・以前、テレビで観たのですが、漢字のどこでもいいから一箇所〇をつける。それから5回書いてみる。意外と書けるようになります。

例 菌を覚える場合

菌

こんな風に〇をつける。

- ・単語や熟語にして、音読しながら練習する。
- ・暗記したいものは、歩きながら声に出してみる。

監物快晴先生からのアドバイス

ケータイをいじっている15分くらいを勉強に割り当てて、寝る前に少し覚える。それを朝にもう一度やる。

細田浩志先生からのアドバイス

語呂合わせで覚えます。「なんと(710) 綺麗な平城京」とか「水兵 リーベ 僕の船 七曲 シップス クラーク か」(原子番号1～20番 H He Li Be B C N O F Ne Na Mg Al Si P S Cl Ar K Ca) というように。

Q9 宿題のやり方 宿題が終わらないときがある。

A9 見目校長からのアドバイス

①時間がなくて終わらない

宿題の期日が近いものから優先的にやってみましょう。また、考えなくてもやれる宿題、例えば、漢字練習や英単語を書くようなものは、すきま時間を利用してやってしましましょう。

②やる気が出なくて終わらない

- (1) 好きな教科をタイマーで計ってやる。
- (2) タイマーがなったら途中でやめて、苦手な宿題をやる。
- (3) (1) で残ってしまった問題を解く。

ポイント：好きなものから始めると、苦手なものにも取りかかりやすくなる。

Q10 集中力の持続 集中が続かない。めんどくさくなる。眠くなる。

A10

穴戸怜先生からのアドバイス

私は中学時代、夜、勉強はほとんどやりませんでした。というより、やれませんでした。部活で疲れてしまい眠かったので。だから、私は朝に勉強しました。5時くらいに起きて勉強し、朝ご飯を食べて登校。特に夏場は朝も明るく、気持ちのよいスタートを切れました。勉強がめんどくさい、集中できない、夜眠いという人は、ぜひ、試みてください。

柳智文先生からのアドバイス

ゴールを決めて取り組む。何となくやるから集中力が持続しない。

Q11 やる気について やる気が起きない。

A 11

八木澤美雪先生からのアドバイス

「やる気が起きない」と言えるのだから、やる気のある証拠です。自分に向き合っている証拠です。やってみる勇気を出して、大丈夫。自分が思うほど自分は弱くないから。

柳智文先生からのアドバイス

やる気はやらなければ起きない。勉強に大切なのはやる気じゃなく我慢。

Q 12 テスト前の勉強について テスト前の勉強は何をしたらよいかわからない。

A 12 斎藤祐子先生からのアドバイス

「ノートをきれいに色ペンでまとめただけで満足してはいませんか？」

テストができるようになるためには、「①問題に慣れること」「②問題を解くための実践力」が必要になります。

皆さんは部活の大会の前に練習試合をしますよね。（今はコロナで難しいかもしれませんが……）

勉強も同じです。テスト（大会）の前には練習試合（同じような問題を解く）が必要です。

皆さんの身近にある問題は、ワークブックですよね。定期テストではそれが基本になるかと思えます。授業で使っているワークブックをくり返しやってみましょう。2回程度くり返したら、3回目には間違えた問題だけやってみましょう。ワークがある程度できたら次は授業でやった単元テストをもう1度やってみましょう。わからなかったら友達にきいてもよいですし、授業の前後に教科の先生にたずねてみましょう。

「私はワークも単元テストも完璧です！」という人は、さらに応用力を磨きましょう。いろんな種類の問題を解くと応用力はさらにアップします。本屋さんにはいろんな問題集があります。解説がたくさん書いてある厚いものもあれば、薄くて問題だけのものもあります。応用問題が豊富な問題集を選び、解いてみましょう。応用力がついてくれば、3年生で実施する実力テストにも対応できると思います。ただし、基礎が完璧でないのに、いきなり応用問題はだめですよ。まずは教科書のワーク！これを完璧にしましょう！

Q 13 勉強が嫌い すごく勉強が嫌いで家で漢字練習をしたら吐いた、それほど嫌いです。

A 13

八木澤美雪先生からのアドバイス

本当に嫌いですか？心も身体も嫌いだと勘違いしていませんか。意思が強く自分のやり方で勉強しようがんばっているからこそその悩みです。少しだけ、他のやり方も試してみてくださいはどうでしょう。

岩井敏行先生からのアドバイス

自分が好きなもの、夢中になれることを大切に!!応援しています！

柳智文先生からのアドバイス

嫌いなことから逃げていたら、つらい大人生活になってしまいます。嫌いなことと戦えるようになる自分になるために勉強する。

Q 14 高校進学 自分がめざしている高校がどれくらいがんばれば、入れるのかわからない。

A 14 見目校長からのアドバイス 実力テストの合計点が出たら、担任の先生に相談してみよう。

Q 15 苦手な教科の勉強法について

苦手な教科を勉強する気がなくなる。苦手な教科を勉強してもテストだと使えない。勉強しても頭に入っていない。

A 15 見目校長からのアドバイス

①まず、ドリルを授業の知識だけで解く。いくつか正解していれば上出来。全滅でも心配しない。

- ②解答を見て、「うっかりミス」による間違いと「意味が分からず解けなかった間違い」に分ける。
意味が分からず解けなかった問題はやり方を先生に聞く。(休み時間や放課後を利用して先生方にどんどん聞いてください。)
- ③解答を確認して、やり方を覚える。10分～30分くらい休憩をとる。
- ④もう一度解く。
- ⑤①～④の繰り返し。これを3回くらい繰り返すと覚える。

Q 16 夜の練習(自主練)との両立について

夜遅くまで練習があり、勉強時間の確保が難しい。

A 16 監物快晴先生からのアドバイス

夜の練習は強制ではないので、自分の体力と相談しながらやってもらいたい。夜の練習がない日に勉強するなど、計画を立てて参加してほしい。それが将来につながる。

Q 17 1, 2年生の復習について(中3)

1, 2年の復習はどうやったら効率よく復習できますか。

A 17 岩井敏行先生からのアドバイス

わからなかったところまでしっかり戻ることが結局近道。

Q 18 ノートについて ノートをきれいに使えないこと。

A 18

八木澤美雪先生からのアドバイス

誰かと比べていませんか?自分で書いたノートがわからないのですか?自分がわかればいいのです。パターンを変えてみてはどうでしょうか。

- ・罫線の間隔が広いものを使う。 ・一行空ける。 ・大きめの字で濃く書く。
- ・方眼ノートを使う。 ・やわらかい鉛筆で書いてみる。 ・白紙ノートを使う。
- ・あえて色ペンで書いてみる。

岩井敏行先生からのアドバイス

キレイに使う必要はない。自分が読めればO.K. ノートよりも理解が大切。

Q 19 思春期について 親の前では勉強をしなくなる。勉強する自分の部屋がほしい。

A 19 見目校長からのアドバイス

私も部屋がなく、押し入れの中で勉強していました(笑)。お風呂も1人になれます。英単語の暗記などには使えます。

さて、一番の解決法は、親と約束事を作ることです。テスト前などに一度話し合ってみては。

例:今度のテスト頑張りたい。だから、勉強しているときは話しかけないでほしい。

Q 20 自主学習について 自主学習が同じものが続いてしまう。

A 20

八木澤美雪先生からのアドバイス

教科の先生方はたくさん問題プリントを用意しています。声をかけてどんどんもらったらどうでしょう。

岩井敏行先生からのアドバイス

やりたいという気持ちが本当にあれば方法は見つかるはず。言い分けをしないことが大切。覚悟!